

# 令和 3 年度決算報告

油研健康保険組合の令和 3 年度事業報告及び収入支出決算が去る 7 月 27 日に開催されました第 119 回組合会において承認され、決定いたしました。

皆様のご理解とご協力により、令和 3 年度事業をほぼ当初計画通り実施することができました。

令和 3 年度の当健康保険組合の財政状況は、収入支出残（決算残金）では、昨年度と同じく約 1 億 500 万円の黒字となり、経常収支残（本年度の収入保険料と本年度の支出額との差引き残）においても、約 900 万円の黒字となりました。

保険料、繰越金及び国庫補助金の減少など収入は抑えられており、保険給付費の支出は増加傾向にあります。今期黒字収支となったのは、納付金（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金）の支出額が 1080 万少ないことが主な要因であります。今期はプラスに働きましたが、高齢者医療制度等に拠出する納付金は健保独自の努力で増減できない外的要因となり、依然として健保財政の大きな負担となっております。

健康保険組合では、引続き医療費適正化のための努力・健康づくり支援をすすめてまいります。皆様にも日ごろから健康づくりに努められ、適正受診、医療費節減を意識していただくよう、お願いいたします。

## 一般勘定

区 分		R03 年度決算①	R02 年度決算②	差 異 (①-②)
		千円	千円	千円
収	保 険 料	260,861	255,236	5,625
	繰 越 金	94,797	106,269	△11,472
	準備金・別途積立金繰入	0	0	0
入	国庫補助金等	642	4,500	△3,858
	雑 収 入	5,485	5,406	79
	計	361,785	371,411	△9,626
支	事 務 費	27,017	34,058	△7,041
	保 険 給 付 費	111,573	103,810	7,763
	納 付 金*	99,245	110,107	△10,862
	保 健 事 業 費	14,724	12,510	2,214
	そ の 他	4,577	6,106	△1,529
	計	257,136	266,591	△9,455
収 支 差 引 残		104,649	104,820	△171

\*納付金は前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・退職者給付拠出金の合計です。

### 収 入 「 保険料収入は 2.2%増加 」

#### ① 保険料収入

健保組合の収入の大部分（本決算では 70.9%）が、被保険者の皆様と事業主から納めていただいた保険料です。令和3年度においては、基礎となる被保険者数が前年度より4名少ない514名、平均標準報酬月額が昨年より7,985円多い404,412円となりました。

保険料収入は前年度比 2.2%多い 260,861 千円となり 5,625 千円の増加となりました。

#### ② 国庫補助金等

今年度も高齢者医療支援金助成事業により国から補助金を受けましたが、補助金の額は 3,011 千円減少し 642 千円の支給を受けました。

#### ③ 雑収入

人間ドックの一部負担金収入が大部分で、昨年と同等となります。

## 支出 「保険給付費は 7.5%増加、納付金は 9.9%減少」

### ① 事務費

当健保組合事務局の運営にかかわる諸経費と組合会関係費です。

### ② 保険給付費

皆さんの医療費や各種給付金のために支払った費用です。今年は前年度比 7.5% (7,763 千円) 増加し、111,573 千円となり支出全体の 43.4%となります。

### ③ 納付金

平成 20 年度に導入された高齢者医療制度等に拠出するため健保独自の努力で減らすことは出来ません。65 歳～74 歳までの前期高齢者の医療費を支えるため前期高齢者納付金として約 2 千 9 百万円を、75 歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度への支援を後期高齢者支援金として約 7 千万円をそれぞれ支出しました。

納付金全体では、前年度比 9.9% (10,862 千円) 減の 99,245 千円となり、支出全体の約 38.6%を占め、保険給付費に次いで健保財政の大きな支出となっています。

### ④ 保健事業費

皆さんの健康づくりを支援するための費用です。令和 2 年度はコロナ禍の影響により、歯科健診事業は中止を余儀なくされましたが、令和 3 年度は実施しております。事業費は全体として昨年より 2,214 千円多い 14,724 千円となり、保険料収入の約 5.7%を支出いたしました。

また、「特定健康診査・特定保健指導事業」の費用は約 240 千円でした。

## 決算残金 「安定した健保財政を図るため、12,000 千円を

### 準備金として受入れ」

令和 3 年度の決算残金（収支差引残高）は、104,649 千円となり、準備金として 12,000 千円を受入れ、残り 92,649 千円を翌年度（令和 4 年度）へ繰越します。

## 介護勘定

区 分		R03年度決算①	R02年度決算②	差 異 (①-②)
		千円	千円	千円
収 入	介護保険料	38,172	36,900	1,272
	繰越金	14,606	18,009	△3,403
	その他	0	106	△106
	計	52,778	55,015	△2,237
支 出	介護納付金	45,112	38,409	6,703
	一般勘定繰入	0	0	0
	計	45,112	38,409	6,703
収支差引残		7,666	16,606	△8,940

### 収入

介護保険料収入は、前年度比 3.3% (1,272 千円) 増の 38,172 千円。

前年度からの繰越金 14,606 千円等とあわせ、収入合計 52,778 千円。

### 支出

支出は、国庫への介護納付金のみで、前年度比 6,703 千円増の 45,112 千円。

### 決算残金

以上により、令和 3 年度の決算残金（収支差引残高）は 7,666 千円となり、厚労省の定める準備金は確保されているため、残金全てを翌年度（令和 4 年度）へ繰越します。

以 上